

## 和歌山大学 令和5年度 前期学位記授与式 式辞



学部 20 名と大学院博士前期課程 1 名の合計 21 名の皆さん、学位の取得おめでとうございます。皆さんを卒業生・修了生として送り出せることを、本学教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。

また、本日は、ご家族や関係者の皆様にもお祝いとお礼を申し上げます。学生の皆さんの卒業・修了は、学生のみならず、ご家族や関係者の皆様の温かいご支援とご尽力があってこそその輝かしい成果です。その絆を感じながら、皆さんがこの大学を通して培った知識や経験を胸に、新たな未来へと旅立つ姿を讃えると同時に、心からの祝福をお伝えいたします。

改めまして、卒業・修了を果たされた皆さん、おめでとうございます。学びの苦労や試験の日々、そして自己を見つめ直す時間、それぞれの努力の成果が、今日に結実しています。その過程は、皆さんが成長し、強くなるための必要なステップであったことは間違いありません。日々の努力と忍耐が今日の栄誉となりましたことを心から嬉しく思っています。

「勉学は光、無学は闇」という言葉があります。卒業・修了を果たされた皆さんは、これまでの学びの過程で数々の光を灯し、知識と知恵を積み重ねてきました。その光は、未来への道を照らす導きとなることでしょう。しかしながら、ここで学びが終わることはありません。今後も学びを追求し、自身の可能性を広げていくことこそが重要です。

そして皆さんには、これから挑戦と変化が待ち受けています。しかし、その中にこそ成長と可能性が秘められています。イギリスの第 63 代首相 ウィンストン・チャーチルが言ったように、「成功は失敗から立ち上がる勇気を持つ者にしか訪れない」。失敗や困難は新たなチャンスとなることもあります。それを恐れず、大胆に一步を踏み出してください。これからの人生において失敗や困難があるかもしれませんが、それこそが成長の証となり、強さと知恵を培う機会となるでしょう。そして、自分の内なる声に耳を傾け、人生の指針を見つけ

てください。また、自分の信念を持ち、目標に向かって歩み続けることは、人生の中での大切な要素です。

世界は多くの未知の道で満ちていますが、皆さんがその道を切り開く勇気を持って進んでいけば、素晴らしい発見と未来が待っています。

「一期一会」という言葉は、人生において一度限りの機会という意味ですが、同時に、これが最後かもしれないと考え、そのときどきを大切にすべき考え方でもあります。和歌山大学での出会いや経験、友情や師弟関係は、これからの人生においても価値ある大切な宝物となるでしょう。そして新たな環境で出会う人々との繋がりも大切にし、違う価値観や文化を尊重しながら、多様性の中で成長していきましょう。

和歌山大学は、今年度から新たな使命として「未来を切り拓く知の舞台」というキャッチフレーズを掲げ、学問の力を通じて社会への貢献を追求することを目指すことを強調しています。皆さんがここで過ごした日々は、その舞台の一部であり、知識と経験を積み重ねる過程で、自己の可能性を探求し、成長してきたことでしょう。今後においても、その知識と経験を活かし、新たな地平を未来に向けて切り拓いてください。



また、私たちが大切にしている価値観のひとつは、「豊かな人間性と深い倫理観を尊重し、コミュニケーション能力を高め、個々の可能性を最大限に引き出す人材育成が大学の使命である」と思っています。知識の追求だけでなく、人間性の育成が大学教育の重要な学びの一環であると信じています。社会に出ても、誠実さと倫理観を持ちながら、人々と協力し、理解を深めていくことが求められます。

そして、私は「学びと well-being の調和」を掲げていきたいと思っています。これは、現代の社会において非常に重要なテーマです。学生さんが一生涯、健やかで充実した人生を送るための基盤を提供することは、私たちの責務です。学びと well-being の両面を大切に、自分自身を成長させる過程で、人生の喜びと充実を感じることができるようになることでしょう。その充実が、自分自身と周囲の人々への喜びをもたらすことになるはずです。

思いやりとは、人の気持ちを思いやり、配慮し、尊重する心のあり方です。皆さんには、この大切な資質を持ち続けてほしいと願います。自分自身の欲望や都合だけでなく、相手の立場や感情を理解し、共感することができる人であり続けてください。その思いやりの心が、人々の心をつなぎ、温かい絆を築く原動力となることでしょう。思いやりは、自己中心的なものではなく、相手の立場を大切にすること。自分がして欲しいことではなく、相手がして欲しいことをする行為が、真の思いやりの表れです。また、その思いやりは、相手が気

付くか気付かないかくらいが最良だと考えることも大切です。見返りを求めることなく行動すること、これが思いやりの真髄です。

思いやりの心を大切にすることは、社会に貢献する一歩です。自分の能力を社会の役に立てるだけでなく、人々の心に温かな影響を与えることができます。そして、その影響は連鎖していくことでしょう。一人ひとりが思いやりに満ちた行動を取ることで、社会全体がより優しく、温かい場所となるでしょう。

私は「学びと well-being の調和」とともに、「思いやり」を加えることで、豊かな人生の軌跡を描くことができると確信しています。人々とのコミュニケーションを通じて、相手の笑顔や涙、喜びや悲しみを共有することで、自己の成長と幸福を同時に追求できるはずで

最後に卒業生の皆さんに向けて、私たちの願いを込めて今日の式辞の言葉を送ります。皆さんの未来が輝かしいものであることを信じ、これからの旅路が希望に満ちていることを祈っています。知識を磨き、人間性を高め、社会への貢献の道を歩み続けてください。また自分を信じ、挑戦する勇気を持ち続けてください。世界は変化し続けていますが、変化こそが成長の機会です。新たな環境や困難に立ち向かうことで、自分の可能性を発見し、未知の領域を切り拓いていくことができます。卒業生の皆さん、今日の卒業式は新たな始まりの合図です。そして、これは私たちすべての心に感動を刻む瞬間でもあります。皆さんの成功と幸福を心から願いながら、新たなる未来に向けて歩み出して行ってください。

今日は本当におめでとうございます。和歌山大学は、あなたを心から応援しています。



2023年9月22日  
和歌山大学 第18代学長 本山 貢